

2024 年 12 月 20 日

岐阜大学医学部附属病院において腹腔鏡下の腹部低侵襲手術(消化器外科・婦人科・泌尿器科:ロボット手術を含む)を受けた患者様へ

「腹部外科手術における修正型軟骨周囲アプローチによる胸腹部神経ブロック(modified ThoracoAbdominalnerves through Pericondrial Approach block: mTAPA block)の周術期鎮痛に対する有用性を検討する後方視的研究」への協力をお願い

麻酔疼痛治療科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象:2021 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日まで(18 ヶ月)に岐阜大学医学部附属病院で腹腔鏡下の腹部低侵襲手術(消化器外科・婦人科・泌尿器科:ロボット手術を含む)を受けられた方

研究期間:研究機関の長の研究実施許可日～2025 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法 : 2021 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日まで(18 ヶ月)に岐阜大学医学部附属病院で腹腔鏡下の腹部低侵襲手術(消化器外科・婦人科・泌尿器科:ロボット手術を含む)を受け、その際 modified TAPA(ThoracoAbdominal nerves through Pericondrial Approach)ブロック(以下 m-TAPA ブロックを全身麻酔に併用された 18 歳から 85 歳までの患者様について、その他の腹壁ブロックを全身麻酔に併用された患者様を対照群として診療録及び手術記録からデータを調査し、患者属性、麻酔・手術時間、術中に使用した鎮静薬(プロポフォール・吸入麻酔薬)及び麻薬性鎮痛薬(レミフェンタニル・フェンタニル)の単位時間あたりの使用量、診療録から判断される術後 48 時間までの術後疼痛の強度及び使用した鎮痛薬の用量・回数・手術終了から初回投与までの時間、吐き気の有無、術後の重篤な合併症(腸閉塞や再手術)の発生頻度などについて比較します。

研究に用いる情報の項目:以下の項目について、診療録(麻酔記録含む)より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

年齢、性別、身長、体重、(BMI)、診断名、併存症、麻酔時間及び手術時間、使用薬剤(プロポフォール・吸入麻酔薬・レミフェンタニル・フェンタニル)とその使用量、術後 48 時間までの疼痛の程度(看護記録から)、使用した鎮痛薬の手術終了から初回投与までの時間、投与量及び回数、吐き気の有無、術後の重篤な合併症(腸閉塞や再手術)、その他の有害事象。

研究に用いる情報の利用を開始する予定日:2025 年 1 月 9 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせく

ださい。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 麻酔・疼痛治療科
氏名：紙谷義孝

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 麻酔・疼痛治療科
電話番号：058-230-6404
氏名：紙谷義孝（秘書：後藤朱美）

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel: 058-230-6059
E-mail: rinri@t.gifu-u.ac.jp